

【質問項目】

1. 急傾斜地の行政代執行（鼓川）について
2. 建築物の耐震化について
3. マリーナ整備について
4. 臨港道路について

【質問本文】

1. 急傾斜地の行政代執行（鼓川）について

■質問（しもづる）

今の関連で、結局、譲渡行為が債権者詐害行為に当たるかどうかということの検討をするに当たって、結局この土地がどれぐらいの価格で譲渡・移転されたのか、ここは重要なことだと思うんですよ。例えば、もし相場どおりで移転されていたのであれば、その分の支払いをもらった現金同等物があるはずですね、申請者のほうに。これはささっと押さえればいい話。むしろ、相場より著しく低い額で移転をされていたら、これはもうまさに債権者詐害行為の疑いを持たざるを得ない行為なわけなんですね。なので、そこを見ていけば大体わかる話なんじゃないかなと、先ほど松里委員御指摘の善意、悪意の話というのはこの辺を見ておけばわかる話だし、もし、相場相応できちんとした売買行為が行われているんだったら、申請者のほうにお金はあるはずなので、そこを差し押さえればいいという話だと思うんですね。

なので、要望として、応急措置分の五千六百万円に関する請求差し押さえ行為をやっているという話ですが、これはもう早急にやっていきたいなと思うんですね。というのが、時間がたてばたつほど無資力になる可能性というのは出てくるわけですね、ほかの支払いとかもあったりするかもしれませんから。ですので、これにもし穴があいたら、御承知のように税金投入になってしまいますから、その債権保全とか回収とか、その辺はしっかりとやっていただきたいなというふうに思います。

2. 建築物の耐震化について

■質問（しもづる）

私から一点、建築物の耐震化についてお伺いしたいと思います。

いただいている資料の八ページなんですけれども、特定建築物の耐震化の促進ということで、改修に係る補助制度を平成二十七年補正からということで仕組みを示していただいております。

そこで、まず一点目にお伺いしたいのは、実際に改修を予定している、県の持っている施設、県有施設というのは何か予定されていますか。特定建築物の耐震化の促進に当たって、県が持っている施設と

というのは何かあるんですか。

□答弁（建築課長）

鹿児島県建築物耐震化促進事業といたしますのは、民間の建築物を対象とした事業でございます、県の施設は対象となっております。

■質問（しもづる）

この補助制度の対象となる、この補助制度を活用して実際に改修をやろうとしている県の施設はあるんですかというお尋ねです。

□答弁（建築課長）

鹿児島県建築物耐震化促進事業といたしますのは、民間の建築物を対象とした事業でございます、県の施設は対象となっております。

■質問（しもづる）

わかりました。

これをお伺いしたのが、民間のも含めて、ある一定時期に集中してしまうのではないかという懸念を持っているんです。耐震改修並びにもしかしたらそれに伴う営業スペースの縮小だとかが重ならないのかなということを懸念しているんです。

というのが、たしか、耐震改修なんでしょうか。宝山ホールが二〇一八年ごろに何らかの、上半期の半年使って改修を予定しているということを聞いたことがあって、民間からも、その時期に合わせた改修を予定しているという話を聞いたことがあるんです。何でその時期になるのかなという話を聞いたら、補助金の関係で時限があるからというのを聞いたもので、この制度なのかなと思って聞いたわけです。

それで、お伺いしたいのが、恐らく、この補助金が平成三十年度末までの時限の補助金となると、平成三十年度、二〇一八年度に切れるということで、これから改修をするところが設計して実際に施工するとなると、この辺に集中してしまうんじゃないかなと。二〇一八年というのは御承知のとおり、明治維新百五十周年で本県としても数多くの集客を図らなければならない年になるわけですし、そこに改修等が重なってくると、なかなか集客を行う上で支障が出るかもしれないなということを懸念しているんです。

よって、そのスケジュール感ですとか、もしくはいろんな施設がこの制度を使うでしょうけれども、その平準化ですね、民間の施設について、一気に集中するんじゃなくて、それに向けて何かできること、やっていることはありますか。

□答弁（建築課長）

鹿児島県建築物耐震化促進事業を活用しまして、今後、耐震改修に取り組む建築物を二十一棟、我々は想定しているところでありますが、二十七年度から国体が開催されるまでの三十一年度の間、四、五年かけて計画的に実施していくということで我々は聞いているところでございます。

■質問（しもづる）

とすると、この耐震改修の補助スキームの表を示していただいているんですが、下の説明には、国から来る補助金の全体の二・八％分、これが耐震対策緊急促進事業、三十年度末までの時限補助金と書いてあるんですけど、今、予定している二十一棟というのは、この補助金の活用のみでこだわらず、長いスケジュールで考えているということなんでしょうか。

□答弁（建築課長）

三十年度までの時限の補助金というのは、補強設計に三十年度末までに着手したものが、その後の改修工事の補助の対象になるということでございます。

■質問（しもづる）

わかりました。ありがとうございます。

3. マリーナ整備について

■質問（しもづる）

私から二点伺います。

一点目は、錦江湾におけるマリーナ調査事業についてお伺いしたいと思います。

こちらは数年前から調査事業をやっていて、進展もあるんでしょうけれども、これまでどういう積み重ねをやってきて、そして今後どういうスケジュールでやっていくのかというところを、一度整理して教えていただけないでしょうか。

□答弁（港湾空港課長）

マリーナ計画のお尋ねであります。県が進めておりますマリーナ計画は、ハイマストの大型ヨットが対象でございます。まずは候補地の選定の作業でございますけれども、湾奥でありますとか指宿地区でありますとか大隅地区でありますとか、錦江湾全域を対象としてまず検討を始めました。その検討地において、それぞれ安全性ですとか利便性、あとアクセスといったような部分を総合的に勘案をしまして、鹿児島港において適地を選定しようというところになっております。

それで、これまで、ヨットを持っている、ヨットを保有している方々に対してアンケート調査を実施をしたり、あと、ヨット関係の協会にも出向いて行って、クルーズの動向は今どうなっているかというようなことの聞き取りをしたところです。

これらの結果をもとにして、現在、鹿児島港内において、どこが適地かという絞り込みの作業を今現在やっているところであります。今年度はそれとあわせて、場所が決まれば港湾計画の変更が必要になってまいりますので、その場所の環境現況調査を実施していくというような段取りになっていくかと思っております。

■質問（しもづる）

これまで取り組んでいただいたことを御説明いただいたわけですが、今、絞り込みと。絞り込みをするに当たって、検討ポイントだとか、もしくは検討に当たってネックになっていることだとかはどういうことがあるんですか。

□答弁（港湾空港課長）

錦江湾全体の絞り込みをした際と同様であります。安全性ですとか利便性、あとは利用する方々のアクセス性といったような部分、あとは景観にどういうふうに着与していくかというような部分も大きなファクターになってくるかなと思っています。そういう目で絞り込みの作業を進めていっています。

■質問（しもづる）

この事業も聞き始めてから四年、五年ぐらいたつのかなと思っています。ぜひ、いろいろ検討すべき事項はあるんでしょうけれども、スピードを上げて実現に向けて取り組んでいただきたいなと思います。

4. 臨港道路について

■質問（しもづる）

あと一点だけ。臨港道路についてお伺いします。

臨港道路については今年度、事業化に向けた調査予算が五千万円ついたということで、関係各所の皆様の御努力に敬意を表したいなと思っています。きょう、お話ししたいのは逆側ですね、全部通ると、黎明みなと大橋を越えて、谷山臨海大橋を越えていくわけですが、谷山側の結節点をどう考えていくかというところを伺いたいと思います。結節点のところの渋滞緩和ということはしっかり考えていかなきゃいけないことですので、今のところ、谷山側の臨港道路が全部通っていったときの結節点というのはどのように考えていて、その渋滞対策というのはどのように考えていますか。

□答弁（港湾空港課長）

鹿児島港の臨港道路が谷山側で産業道路とタッチする箇所は、ちょうど交通安全教育センターの箇所、向こうから玉取迫鹿児島港線が走ってくる場所の交差点のところに臨港道路が出てくることになります。

将来的な渋滞対策というふうなお尋ねでありましたけれども、対策として考えられるのは、産業道路の右折レーンを増設したりとか、あと、二号用地のところの臨港道路は結構、角々に曲がっているのは確かであります。そここのところの線形をなめらかにしてやるとかというようなことなんだろうと思いますが、先ほど委員からもありました、鴨池港区と中央港区との間の臨港道路のミッシングリンクの区間になっているところの事業化というところに、今、県としては取り組んでおります。これを二十九年度の新規事業で目指しておりますけれども、まずはそちらに取り組んでみたいと思っています。

先ほど申しましたそういう渋滞対策については、それらの工事の進捗をしていく中で検討されていくべきものというふうにご検討をしまして、今のところ、実際具体的にどういう検討があるのかというのはまだなされていない状況であります。

■質問（しもづる）

ありがとうございます。

おっしゃったように、ミッシングリンクの解消というのが最重点項目ですから、そちらに注力していただきたいと思うんですが、将来的な課題として、今お答えもいただきましたけれども、谷山側の結節点に係る問題についても出てこようかと思imasるので、将来的な検討課題としてぜひ考えておいていただきたいなというふうに思います。以上です。